

第11回先進科学セミナー

成蹊大学理工学部

里川重夫 教授

“地球温暖化対策へ化学からのアプローチ”

パリ協定に象徴されるように二酸化炭素の排出量削減は世界的な取り組みが必要とされています。先進国は今の暮らしを守りながら、如何に二酸化炭素の排出量を減らすか考えています。化学にできることは、まず太陽光や風力などの自然エネルギーを貯蔵・輸送できるエネルギー媒体（二次電池、水素）に変換することです。水素は最も質量エネルギー密度の高い物質で、さらにエネルギーを取り出しても二酸化炭素は排出されません。また、自然エネルギー由来の水素とやっかいものの二酸化炭素を化学反応させて有用化学品であるメタノールを製造する工場も建設されています。新しい化学の力が、地球環境や人々の暮らしを変えていくのです。

日時：10月20日(金)
15:00-16:30

場所：津山高専
(合併教室)

ご興味のある方々、気軽にご参加ください

問い合わせ先：前澤孝信（先進科学系）maezawa@tsuyama-ct.ac.jp